



'88

10月号

No.217号



3年B組、中島慶一君の作品。(空想の世界)

中学校学校祭より

鹿部町敬老会 9/15

寿元氣万歳

昭和六十三年鹿部町敬老会が九月十五日の「敬老の日」に中央公民館で午後一時から行われました。

敬老会へは、既に七〇歳以上の方と今年中に七〇歳以上になる方三三七人を招待いたしました。当日は一三四人



の方が出席されました。敬老会は、記念品の贈呈で始まり、まず長寿祝品が、続いて米寿祝品、次いで知事祝品が贈られました。その後、川村町長のあいさつ、佐藤議会議長の祝辞と続き、吉議会副議長のご発声で祝杯をあげ、祝宴に入りました。祝賀会では出席した方々が自慢のノドを披露し手拍子と掛声で会場は熱気ムンムンでした。



マイク持つ手がなれてますね！

ずーっと毎年参加して下さい。

祝品を受けられた方

(敬称略)

◎長寿祝品

- 小川 ナツ 九六歳
- 山内 りつ 九五歳
- 飯田 常太郎 九三歳
- 澤川 きさ 九二歳
- 大黒 すゑ 九一歳
- 松本 タ子 九〇歳
- 佐藤 カツ 九〇歳
- 清信 ひなじ 九〇歳
- 小笠原 トワ 九〇歳
- 小林 ヨネ 八九歳
- 鈴木 専一 八九歳
- 松川 タキ 八九歳

◎米寿祝品

- 村田 勇太郎 八七歳
- 兵庫 ミヨ 八七歳
- 小林 ミワ 八七歳
- 坂本 みて 八七歳
- 能戸 ツマ 八七歳

◎知事祝品

- 山崎 カヨ 八八歳
- 安藤 ヒロジ 八八歳
- 工藤 徳松 八八歳
- 蝦名 与三郎 八八歳
- 松川 市太郎 八八歳

特別ゲスト

函館鹿部会

(鹿部町出身者の集い)

創立5周年記念祝賀会

9/4

プロスキーマー

三浦雄一郎氏を招き

鹿部町の出身者で結成されている、鹿部町を想う会―函館鹿部会(大河弘成会長、小林一夫副会長)の創立5周年祝賀会が、九月四日ホテル函館ロイヤルで開催されました。

祝賀行事は、午後一時からプロスキーマー三浦雄一郎氏の映画「エベレストを滑る」と「チャレンジ」と題した講演が行われました。

5周年



三浦雄一郎氏

演が行われました。この間、鹿部町の物産展を開催し、講演に参加した方々が鹿部町の特産品を沢山手にしております。

祝賀会では、大河会長の挨拶に続いて、渡島支庁長、函館市長(ともに代理)、鹿部からは川村町長、佐藤議会議長、佐々木特産品バザール委員長が来賓としてお祝いの言葉を述べました。

鹿部町から物産展のほか、アトラクションでは、鹿部小唄や舞踊を披露、会場に集った鹿部出身者も、ふるさと鹿部を満喫した一日となりました。

―いつまでも、ふるさと鹿部を心の中に―



出来潤住民待望の漁港着手

早期完成を願い起工式

(本別漁港 出来潤分区)

地域住民待望の漁港が「本別漁港・出来潤分区」として着工されることになり、その起工式が九月二十六日午後一時から漁業関係者、道や工事関係者などが出席して工事の早期完成と無事を願って行われました。

六十三年度は四千万円の工費で、東護岸十七趾の造成工事が行われる予定となっております。

← 完成予想

祝本別漁港(出来潤分区)起工式



出来潤分区は六十八年度まで、東護岸七十趾を造成し、船揚場の新設を計画しております。



星野哲郎先生 鹿部紹介第二弾

○新潮社発行「ミステリー日本地図

北斗船ミシロ



函館の女、風雪流れ旅、北斗船など数多くの歌を作詞、数々のヒット曲を世に送り出している作詞家星野哲郎先生が創作活動のため鹿部町を訪れましたが（八月号広報紙紹介）。この度、全国誌（小説新潮八月号臨時増刊号新潮社）にオラが町、鹿部町を紹介してくれました。

函館から車で一時間と少し北西に走ると噴火湾に面する漁港鹿部町に到着する。

函館の朝市は有名であるが、この市に出てくる新鮮な魚たちの産地を訊くと大抵が「噴火湾だ」という答えが返ってくる。

鹿部町はその噴火湾に面した漁港であり温泉場でもある。この町には「獺の会」というのがあって、この会の人たちとひよんなことから知り合い

になれた。獺は夢をたべる架空の動物であるが、この会の人々も鹿部町の夢をたべながら生きている面々である。その夢のカイバのひとつとして僕という作詞家を選ばれたらしい。

数年、函館の女子短大に講師として招かれてスピーチをしたあと、その講演会場の廊下に展示されていた名産の中でかわいいミンクの袴巻が目についた。色つやのいい銀色のミンクは本物にしてはひどく安価であった。

「これ本物ですか」と売り子さんに尋ねると、「勿論本物だ、センセイならもっと安くする。この町の特産品だ」という答えが返ってきた。娘への土産にミンクを包んでもらっているところを四、五人の男がとり囲んで「私らは鹿部という町の獺の会の者だがちよつと一緒にお茶をのんで行ってくれないか」と言う。

飛行機にはまだ間があったのでOKをした。それが鹿部町と僕との交際の始まりである。去年は、「たいやきくん」の大ヒットを飛ばしたこともある作詞家の高田ひろお君と僕のマネージャーを伴い三人で鹿部に出かけて漁師の皆さんと沖へ出て定置網起こしを手伝ったり、港の番屋で井めしにイカソウメン、鮭の塩焼をおかず

今年六月の七日に羽田を発ち、八日にはやはり早朝五時半に港を出る漁船に乗組み、噴火湾の浪にもまれながら駒ヶ岳の美観に見惚れた。番屋の朝飯も最高であった。去年は高田君もマネージャー氏も船酔いで真青になって漁師さんたちの足手まといになつてしまったが、今年のはベタ風でゲスト二人に幸いした。私は何とい

北海道は鹿部町。噴火湾に面した、演歌の似合う港町だ。海の幸があふれ、温泉も湧く。

でも元船乗りである。決して船酔いなどした顔は見せられない。ともあれ、適当に荒れてこそ噴火湾は漁場として絵になる。

先月発売になった鳥羽一郎唄う「北斗船」はクラウンレコードのブッシュ強力盤であるが、その歌の一番の冒頭に、みぞれまじりのしぶきを頭から浴びて乗り出す

噴火湾

とやったら、これをテレビで聞いた鹿部の「獺の会」から地元でえらく喜んでいう便りがきた。

噴火湾は、イカ、コマイ、スケソウ、イワシ、エビ、カニ、ホタテなど水産物の宝庫であり、鹿部港にはそれらの加工場があり、タラコとイカの珍味に於ては日本の生産量である。

海の幸が溢れ、温泉、ゴルフ場、ホテルと揃っているのにまだ全く観光の処女地で、訪れるたびもつたない気がしてならない。



鹿 中 学 校 祭

9/23・24

野外。パーティとファイヤーストーム
で楽しい思い出づくり

鹿部・学校祭が九月二十三日から二十四日にかけて行われました。

第一日目は、一年生による演劇、私の主張コンクール、合唱コンクールと続き昼食をはさんで午後からは各コンクール結果発表が行われ、二時すぎからは鹿中ギネスに挑戦、長なわとび・空缶積み重ねの二つの競技に全生徒がチームワークを合せて参加しておりました。午後四時から父母が用意した焼肉やイカのボンボン焼での野外パーティ、五時三〇分からファイヤーストームでフォークダンスと、一年生は初体験、三年生は中学校生活の思い出として楽しい一日をすごしたことでしよう。

◆コンクール結果

『壁新聞コンクール』

最優秀賞 三年C組

『合唱コンクール』

最優秀賞 三年A組

『私の主張コンクール』

最優秀賞 三年A組

大友 泰代さん



ファイヤーストーム、生徒と先生と父母とマイムマイム

壁新聞コンクール最優秀賞作品より(3年C組) テーマ「結晶の意味は？」努力の結果できあがったもの

六十三年鹿中学祭壁新聞コンクールで最優秀賞に輝いた三年C組の作品にスポットをあててみました。

結晶の意味は

結晶の意味それは「努力の結果できあがったもの」

今の鹿中には本当の生徒だけの努力があるのでしようか。……を書き出しに……

中学校は以前より良くなったとは聞いていますが、何かあるたびに「先生、先生」と、これまで

何一つ生徒自から積極的に最初から最後までやりとげたことがない感じがします。……と……

「たったひとりしかいない自分を、たった一度しかない人生を、ほんとうに生かさないか、人間生れてきたか、ないじゃないか」



……この意味をみなさん考えてみてください

原子力を

考えて

生活をしていくうえでなくてはならないまで日本いや、世界は発展したので

原子力をほんとうに人類の役に立つようにするた

めには、長い年月とたくさん新しい研究が必要だ

と思います。

21世紀まであと12年

となり、私たちの時代となり、私達の手でもっとよい、発電方法を開発できること

と思います。

町民218人に聞きました

壁新聞優秀賞、三年A組の

『町民二一八人に聞きました』

「この町にもプールを

泳げる人一四二人、泳げない人七六人、という調査結果も出ておりました。

カメラ・アイ

年少組による
玉入れ

第15回しかべ幼稚園運動会 9/4



来賓による風船わり
ホッペが風船より……



第13回近隣町村少年野球大会 9/18



先取点かな？



こくろうさまでした

本別チーム



今期2勝目

毎日の練習の成果が実る

平均年齢二三歳のヤングチーム



優勝した本別チーム

ひろげられました。
決勝戦では役場チームと対戦、若さと練習量に勝る本別チームが優勝杯を手にしました。

大会結果

◎優勝 本別チーム

◎準優勝 役場チーム

◎個人賞

最優秀選手賞 伊藤 出(本)

優秀選手賞 永沢 和夫(役)

殊勲賞 成田 寿彦(本)

敢闘賞 佐々木敏郎(役)



昭和六十三年度鹿部町野球大会最後を飾る「体育協会長杯争奪野球大会」が九月十七日十八日の両日、山村グラウンドで開催されました。この大会が今年最後の公式試合となることから、毎試合熱戦が繰り

わたしたちが日常食べる機会の多い食品の中から、食物繊維の多いものをあげてみました。
(献立の参考に)



食欲の秋

血液中のコレステロールを減らし、動脈硬化を予防する

糖の吸収を遅らせるので、糖尿病の治療効果がある

よくかまないで食べられないので、早食いの防止になる

胃の中で膨張するので満腹感をもたらす

便通をよくして、大腸がんなどを予防する

食物繊維は野菜、豆、海藻類、果物などに多い

食塩を吸収するので、体内に吸収される食塩が少なくなる

食物繊維が今注目
成人病予防に効果大!

健康へのページ

健康の相談は、お気軽に役場健康相談室へ
健康のページに対するご要望がありましたらご連絡下さい。
—保健婦より—

①キノコ類

他に——●マツタケ ●シイタケ

④種実類

他に——●アーモンド ●クルミ ●その他ナッツ類

②海藻類

他に——●マツタケ ●シイタケ

⑤野菜類

他に——●ゼンマイ ●ワラビ ●ウド ●バセリ

③マメ類

他に——●エンドウ ●グリーンピース ●エダマメ

⑥果物類

他に——●イチゴ ●カキ ●リンゴ

⑦イモ類

他に——●ポテトチップス

●忙しくなるとどうしても野菜や果物が不足しがちになりますね。
●野菜や果物には体の調子を整えるビタミンもたっぷり含まれているので一日一回は食べましょう。

保険税を完納していますか？ — 保険証を返還されることも —

お知らせ



「私、一人だけ完納しなくても」、
「適当に納入していれば」、今、全道各市町村では、課税された額の¹⁰以上理由なく滞納した場合は、保険証を返還させる（かわりに受給資格証明書を交付し、全額医療機関で支払い後日七割分返還）という、厳しい状況になってきております。鹿部町でも近い将来実施せざるを得ない状況になるかもしれません。

保険税の滞納者が増加しております。滞納されている方は、早期解消に努めて下さい。

漁業センサス(統計調査) — 11月1日 — 調査にご協力を

- ◎日本の漁業資源を有効利用して漁業の発展を図るため、資源管理型漁業の惜進が重要な課題です。
- ◎現在の漁業者を対象とした、資源の管理、漁獲の管理等の実態を明らかにしなければなりません。
- ◎漁業センサスは、5年ごとに行っている統計調査です。鹿部町では約568世帯が調査対象となります。

★後日調査員が、ご家庭を訪問いたしますのでご協力下さい。

10月15日(土)から役場の勤務時間が変わりました。

- 月曜～金曜 9:00～17:00 → 8:50～17:15
- 土曜 9:00～12:15 → 8:50～12:20

4週6休とは＝4週間に日曜日・土曜日を含めて6回休むことで、土曜日の休みが各週ごとに実施されます。(土曜日は、平常どおり執務しております)

○一日の勤務時間が長くなりました

4週6休を来年3月末まで試験的に実施します

「町史編集室だより」

◎えぞのでぶり紀行文より◎

この運上屋のすぐ隣りの蝦夷の家に入れば犬の大ききくらしいなるビヤウレツプ(ひぐまの小さいのをいう)が一頭宿のすみずみをはって歩き、男の子にひかれても、暴れる様子もなく、親のひぐまを慕うように、急に(おしぬけに)ウウといつて物を嗅ぎ歩き子熊が外に出ると、童子がさつと抱きあげて館(テセキ)に入ってくる。舟を出してザルイシ(津軽の外が浜にもザルイシという浦の名があつて、むかしは蝦夷の住んでいたところだといふ。|| アイヌ語でザルウシといふ、里人は専ら笊石などの文字を当てていた。||)を行くと、シユシユベツのコタンがあつた。シユシユとは柳をいい、ベツとは川をいう。柳の生えている流といふとか、深い森のかけに鳥居の建っているところが神泊(カムキ)だといふ。



海岸に温泉があり、湯煙りのたちのぼっているのを、鹹(カシチ)を操っているアイヌの婦人等がこの湯を指してナシユヒルカというのだとその物語をした。ナシユは病名疝氣(イタク)のことで、ピルカとはその病気によく効くという言葉だといふ。

この山奥にもトメの湯(留の湯)という、またよい温泉があることなどをシヤモ(和人)の言葉もまぜて話しながら、夕暮れにこのシリカベツの泊に着いた。

シヤモはこのコタンをシカベ(鹿部)というのである。どこもこのあたりは、ひろめ(昆布)がよいのだろう。世間で珍重されている宇賀の昆布というのは、この地方の雲河の海岸の磯あたりから採るのでこの名がひろまったのである。今でも、ひろめ(昆布)は、この浦にまさる佳い昆布は他にないと世の人たちが専らいつていることである。星かと思えるほど、海辺の草むらに、群れているたくさん

の蛍が浜風に誘われ、家々の軒近く飛びまわって窓から家の中まで入ってくるのである。……つづく

昭和63年
第3回町議会
定 例 会 会

- 教育委員に坂井幸雄氏
- 一般会計補正予算
- 税制改革における地方財源の確保に関する緊急要望意見書
- 昭和六十二年各会計の決算認定など

昭和六十三年第三回鹿部町定例会は、九月二十七日に開かれ、会期を四日間と決め、諸報告、町長の行政報告、一般質問のあと議案審議にうつり、一般会計補正予算、国保会計補正予算などを原案どおり可決しました。その後、教育委員に、坂井幸雄氏を任命することに同意し、意見書四件を提出することを決め、次いで、昭和六十二年の各会計の決算を認定し閉会いたしました。

議案第二号

昭和六十三年年度鹿部町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算について

国保会計の総額に五百六十六万八千円を追加し、予算総額を四億九千四百五十三万六千円としました。

追加の主な内容は、退職者医療交付金還付金百七十七万七

千円、自動血圧測定器百三十万円、保健啓発普及費百万四千円、国保運営協議会委員研修視察旅費六十九万九千円などが主な追加内容です。

議案第三号

鹿部町教育委員会委員の任命について

教育委員に次の方を任命することに同意しました。

住 所 宇本別16番地の2
氏 名 坂 井 幸 雄

昭和7年4月9日生

意見書1・2・3・4

意見書第1号

国庫補助負担率の復元に関する緊急要請について

意見書第2号

税制改革における地方財源確保に関する緊急要望について

意見書第3号

義務教育費国庫負担金制度

見直し反対および福祉・教育予算復元・地方財政確立を求める要望について

意見書第4号

小学校社会科教科書に森林・林業に関する記述を充実することについて

請願第一号

件 名

出来洞内地池埋立に関する件

代表者氏名

若山房五郎 外十七名

請願理由

出来洞内にある沼(池)

については、周囲は雑草が群生し、夏になると蚊の発生源となり、その精神を不安定な状態に押しやり、肉体的・精神的打撃を与えることが必ずであります。又、周囲の状況からみて幼児にとってもまことに危険な場所であります。

議案第一号

昭和六十三年年度鹿部町一般会計補正予算について

一般会計の総額に一億四千六百二十二万二千円を追加し、予算総額を二十億四千九百八千円としました。

主な追加内容

○ 財政調整基金積立金

七千七百九十六万一千円

○ 備荒資金組合納付金

五千万円

○ 小規模増殖場(ウニ)造成

事業負担金

六百万円

○ 乳幼児医療費

四百三十五万四千円

○ 鹿部海岸線道路改良工事・

宮浜二号線道路改良工事

二百三十二万二千円

○ 鹿部海岸線道路改良工事水道管移設補償金

百三十万二千円

○ 中学校横排水管改修工事

三十万円

○ ジュノス収穫祭88参加負担

金

十一万五千円

昭和六十二年

決算認定

(単位：千円)

会 計 名	歳 入	歳 出	差 引
一 般 会 計	1,838,753	1,835,940	2,813
国 保 会 計	430,302	461,010	△ 30,708
老 人 保 健 会 計	267,206	268,190	△ 984
水 道 会 計	65,136	62,258	2,878

● 国保会計の△30,708千円と老人保険会計の△974千円は63年度から繰上充用金で処置しております。

63年度各会計の予算執行状況 (63年9月末現在)

地方自治法、地方公営企業法の定めるところにより、予算の収入及び支出状況を公表します。

(単位：千円、%)

会 計 名	区 分	予算総額	収入又は支出済額	未収入又は未支出済額	収入又は支出済割合
一般会計	歳入	2,040,098	968,611	1,071,487	47.5
	歳出	2,040,098	781,727	1,258,371	38.4
国保会計	歳入	494,536	136,111	358,425	27.5
	歳出	494,536	191,112	303,424	38.6
老人保健 会 計	歳入	279,829	116,028	163,801	41.5
	歳出	279,829	109,066	170,763	39.0
水道会計	歳入	63,550	31,751	31,799	50.0
	歳出	59,778	18,152	41,626	30.4

※国保会計において支出済額が収入済額を上まわっている分(不足分)は、一時借入金50,000千円と一般会計からの一時運用金15,000千円により処理されております。

各会計予算措置状況

(単位：千円)

会 計 名	当 初 予 算 額	9月末現在予算額	増 減 額
一般会計	1,857,277	2,040,098	182,821
国保会計	458,160	494,536	36,376
老人保健会計	278,844	279,829	985
水道会計	63,550	59,778	△ 3,772

本庄 酒谷 村上 竹内 工藤 庄内 氏名
 八五歳 八七歳 五〇歳 六九歳 七一歳 七五歳 享年
 鹿部 鹿部 鹿部 鹿部 鹿部 鹿部 住所



おくやみ
もうしあげます

鎌田 高石 高澤 山田 氏名
 寛父 勝寛 輝利 啓太 介太 昭彦 住所
 宮部 鹿部 鹿部 鹿部 鹿部 鹿部



おたんじょう
おめでとう

世帯と人口
 昭和63年9月30日現在
 ()は前月比です。
 世帯数 1,412世帯 (+4)
 男 2,550人 (+1)
 女 2,560人 (-4)
 計 5,110人 (-3)

戸籍の窓